

障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（香川県・善通寺市）

実施事業所

縁結

導入した設備

大型冷蔵庫、プラストチラー、スチールコンベクションオーブン、ラベルプリンター

事業の応募のきっかけ（事業所が抱える課題）

平均工賃は全国平均を大きく上回り、利用者も満足して通所していましたが、今後の工賃向上計画に沿った事業を行っていくには、現在の設備や就労支援の作業内容では限界があり、今後は生産性を上げていくことが重要になってくるため応募しました。



事業内容

既存のお弁当販売事業の作業効率を上げ、販売先もスーパー・マーケット中心に確保したために1日当たりの食数を多く作ることができました。また、従来のお弁当だけでなく、お惣菜制作にも注力をしたために、新たな分野での販路拡大にも努めました。



生産設備導入後の効果

生産設備導入を行うことで、今までの就労会計売り上げにプラスして弁当販売の売り上げを上げることができた。また、生産設備を導入することにより、利用者の工賃を上げることができた。約2割の工賃上昇を見込むことができた。